

○犬山市初期消火器具整備費補助金交付要綱

平成31年2月19日要綱第5号

改正

令和元年10月23日要綱第34号

令和3年3月30日要綱第50号

令和4年3月4日要綱第17号

令和5年3月15日要綱第24号

令和5年6月21日要綱第80号

犬山市初期消火器具整備費補助金交付要綱

(目的)

**第1条** この要綱は、地域における初期消火能力及び防火意識の向上を目的として交付する初期消火器具整備費補助金（以下「補助金」という。）について、犬山市補助金等交付規則（昭和56年規則第10号。以下「規則」という。）に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

**第2条** この要綱において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

(1) 町内会等 一定の区域内に住所を有する者の地縁に基づいて形成され、自主的に運営されている町内会その他の組織をいう。

(2) 初期消火器具 初期消火のために使用するスタンドパイプ式初期消火器具（別表に掲げる仕様を満たすものをいう。）をいう。

(補助対象団体)

**第3条** 補助金の交付対象となる者は、消火栓が設置されている区域に存する町内会等であって、初期消火器具の取扱いに関する訓練等を定期的に実施できるものとする。

(対象経費)

**第4条** 補助金の交付の対象となる経費（以下「補助対象経費」という。）は、初期消火器具の購入に係る費用とする。

(補助金の額等)

**第 5 条** 補助金の額は、補助対象経費の額に 2 分の 1 を乗じて得た額（その額に 1,000 円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てた額）とし、150,000 円を上限とする。

（交付申請）

**第 6 条** 補助金の交付を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、補助金の交付を受けようとする日の属する年度の 12 月 31 日までに、初期消火器具整備費補助金交付申請書（様式第 1）に次に掲げる書類を添えて、市長に提出しなければならない。

（1） 初期消火器具の購入に係る見積書の写し

（2） 初期消火器具の設置位置を明らかにする図面

（交付決定通知）

**第 7 条** 市長は、前条の申請があったときは、速やかにその内容を審査し、適当と認めるときは、初期消火器具整備費補助金交付決定通知書（様式第 2）により補助金の交付を行わないことを決定したときは、初期消火器具整備費補助金不交付決定通知書（様式第 3）により申請者に通知するものとする。

（計画変更）

**第 8 条** 第 7 条の交付決定の通知を受けた者（以下「交付決定者」という。）が、当該決定に係る事業計画を変更しようとするときは、初期消火器具整備費補助金事業計画変更届（様式第 4）に、必要な書類を添えて市長に提出しなければならない。

（変更決定通知）

**第 9 条** 市長は、補助金の交付を変更したときは初期消火器具整備費補助金変更決定通知書（様式第 5）により、補助金の交付を取り消したときはその旨を記載した書面により交付決定者に通知するものとする。

（実績報告）

**第 10 条** 交付決定者は、初期消火器具の購入及び設置が完了したときは、当該設置が完了した日の翌日から起算して 30 日以内に初期消火器具整備費補助金事業実績報告書（様式第 6）に次に掲げる書類を

添えて市長に提出しなければならない。

- (1) 初期消火器具の購入に係る請求書及び領収書の写し
  - (2) 初期消火器具の設置箇所を明らかにする位置図及び写真
  - (3) 初期消火器具を設置した土地又は施設の使用に係る承諾書又は許可書の写し（町内会等の倉庫等に保管する場合を除く。）
  - (4) その他市長が必要と認める書類
- （補助金額の確定通知）

**第11条** 市長は、前条の報告があったときは、その内容を審査し、適当と認めるときは、交付すべき補助金の額を確定し、初期消火器具整備費補助金額確定通知書（様式第7）により交付決定者に通知するものとする。

（補助金の交付）

**第12条** 前条の通知を受けた交付決定者は、補助金の交付を受けようとするときは、初期消火器具整備費補助金交付請求書（様式第8）を市長に提出しなければならない。

（財産の管理）

**第13条** 交付団体は、補助金の交付に係る事業により取得した初期消火器具について、善良な管理者の注意をもって保守及び管理するとともに、補助金の交付の目的に従って、その効果的な運用を図らなければならない。

（初期消火器具の使用）

**第14条** 補助金の交付を受けた者（以下「交付団体」という。）は、初期消火器具を使用するときは、消防署が行う取扱指導を受けなければならない。

2 交付団体は、初期消火器具を火災発生時又は訓練時以外に使用してはならない。

3 交付団体は、訓練のため初期消火器具を使用しようとするときは、消防署に連絡するとともに、消防署員の立会いのもと行うものとする。

（雑則）

**第15条** この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

**附 則**

- 1 この要綱は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 この要綱は、令和11年3月31日限りその効力を失う。

**附 則（令和元年10月23日要綱第34号）**

この要綱は、令和元年10月23日から施行する。

**附 則（令和3年3月30日要綱第50号）**

- 1 この要綱は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 この要綱の施行の際、この要綱による改正前の様式による用紙で現に残存するものは、当分の間、その改正後の様式とみなして使用することができる。

**附 則（令和4年3月4日要綱第17号）**

- 1 この要綱は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 この要綱の施行の際、この要綱による改正前の様式による用紙で、現に残存するものは、当分の間、その改正後の様式とみなして使用することができる。

**附 則（令和5年3月15日要綱第24号）**

- 1 この要綱は、令和5年4月1日から施行する。
- 2 この要綱の施行の際、この要綱による改正前の様式による用紙で、現に残存するものは、当分の間、その改正後の様式とみなして使用することができる。

**附 則（令和5年6月21日要綱第80号）**

この要綱は、令和5年6月21日から施行する。

**別表（第2条関係）**

スタンドパイプ式初期消火器具仕様

器材	数量	仕様
消防用ホース	3～5本	40mm×20m又は40mm×15mとし、使用圧力0.9MPa以上の消防用ゴム引きホースで、消防

		用ホースの技術上の規格を定める省令に適合するものとする。
筒先	1 本	40 A 差込式
可変ノズル	1 個	直状、噴霧（約120° 噴霧までの展開角度）及びシャットが可能なものとする。 40 A 筒先に取り付可能なものとする。
スタンドパイプ	1 本	単口引き上げ式（レバー付きを含む。）で、口径65mmの消火栓に接続した際に、消火栓蓋開閉キーの操作に支障のない高さのものとする。
媒介金具	1 個	差込異径媒介 （受け口65mm、差し口40mm）
消火栓蓋開閉キー	1 本	別に定める。
台車		容易に移動ができる重量の金属製とし、ゴム車輪左右付にて上記すべての品目が積載できるものとする。 ゴム車輪の大きさは、道路縁石の段差（10cm程度）が容易に乗り越えられる形状のものとする。 各資器材は、運搬時や保管時に外れないよう固定できるものとする。
収納箱又は収納袋		台車に各資器材が積載された状態で収納することができる大きさのものとする。 収納箱扉に鍵を設けることができるものとする。 正面にスタンドパイプ式初期消火器具とわかる表示をするものとする。 収納箱又は収納袋には、町内会等名を表示することができるものとする。

		台車自体が収納箱の機能を有する場合は、設けないことができる。
--	--	--------------------------------

様式第1（第6条関係）

初期消火器具整備費補助金交付申請書

年 月 日

犬山市長

団体名  
(代表者)  
住 所  
氏 名  
電話番号

年度において初期消火器具整備費補助事業を実施したいので、下記のとおり申請します。

1 申請額 金 \_\_\_\_\_ 円

2 事業費の内訳

総事業費	補助対象経費	補助率	補助金交付申請額
		2分の1	

3 補助対象経費の内訳

内容	数量	単価	算定金額
合計			

4 初期消火器具の設置場所

5 初期消火器具設置の開始及び完了予定

6 添付書類

- (1) 見積書の写し
- (2) 初期消火器具設置位置図

様式第2（第7条関係）

初期消火器具整備費補助金交付決定通知書

指令第 号  
年 月 日

団体名

住所

代表者名

様

犬山市長

印

年 月 日付けで申請のあった初期消火器具整備費補助金については、次のとおり交付することに決定したので、犬山市初期消火器具整備費補助金交付要綱第7条の規定に基づき通知します。

1 補助金交付決定額 金 円

2 補助金の交付条件

《注 意》

- (1) 計画変更する場合は、初期消火器具整備費補助金事業計画変更届（様式第4）を提出してください。
- (2) 補助事業が完了したときは、補助事業が完了した日の翌日から起算して30日以内に初期消火器具整備費補助金事業実績報告書（様式第6）を提出してください。
- (3) 地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第7項の規定により市の監査委員が当該事業に係る出納その他について監査する場合があります。



様式第3（第7条関係）

初期消火器具整備費補助金不交付決定通知書

第 号  
年 月 日

団体名

住所

代表者名

様

犬山市長

印

年 月 日付けで申請のあった事業は、補助することが適当でないと認められますので、犬山市初期消火器具整備費補助金交付要綱第7条の規定に基づき通知します。

理由

様式第4（第8条関係）

初期消火器具整備費補助金事業計画変更届

年 月 日

犬山市長

団体

住所

代表者名

年 月 日付け 指令第 号で補助金の交付決定を受けた事業について、犬山市初期消火器具整備費補助金交付要綱第8条の規定に基づき、次のとおり変更を届け出ます。

1 補助金変更申請額 金 円

2 計画変更の内容

当初計画	変更計画

3 計画変更理由

様式第5（第9条関係）

初期消火器具整備費補助金変更決定通知書

指令第 号  
年 月 日

団体名  
住所  
代表者名

様

犬山市長

㊟

年 月 日付け 指令第 号で通知しました事業に対する補助金の交付決定を、犬山市初期消火器具整備費補助金交付要綱第9条の規定に基づき、次のとおり変更します。

1 変更後の補助金交付決定額 金 円

2 補助事業の変更内容

3 条件等

《注 意》

- (1) 補助事業が完了したときは、補助事業が完了した日の翌日から起算して30日以内に初期消火器具整備費補助金事業実績報告書（様式第6）を提出してください。
- (2) 地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第7項の規定により市の監査委員が当該事業に係る出納その他について監査する場合があります。

様式第6（第10条関係）

初期消火器具整備費補助金事業実績報告書

年 月 日

犬山市長

団体名  
住所  
代表者名

年 月 日付け 指令第 号で補助金の交付決定を受けた事業が完了したので、犬山市初期消火器具整備費補助金交付要綱第10条の規定に基づき、次のとおり報告します。

1 初期消火器具等の設置場所

2 事業費合計金額 金 円

3 補助金額 金 円

4 事業完了年月日 年 月 日

5 添付書類

- (1) 初期消火器具の購入に係る請求書及び領収書の写し
- (2) 初期消火器具の設置箇所を明らかにする位置図及び写真
- (3) 設置場所を借用等する場合には、地権者の承諾書又は許可書等の写し
- (4) その他市長が必要と認める書類

様式第7（第11条関係）

初期消火器具整備費補助金額確定通知書

第 号  
年 月 日

団体名

住所

代表者名 様

犬山市長

印

年 月 日付け 指令第 号で交付の決定をした補助金について、  
次のとおり補助金の額が確定しましたので、犬山市初期消火器具整備費補助金交付要綱第  
11条の規定に基づき通知します。

補助金確定額 金 円

様式第8（第12条関係）

初期消火器具整備費補助金交付請求書

年 月 日

犬山市長

団体名  
住所  
代表者名

年 月 日付け 指令第 号で補助金の交付決定を受けた事業に対する補助金の交付を、次のとおり関係書類を添えて請求します。

1 交付請求額 金 円

2 振込先

- (1) 金融機関 銀行・金庫・農協 店  
(2) 口座番号 普通・当座 \_\_\_\_\_  
(フリガナ)  
(3) 口座名義

3 添付書類

振込先金融機関の口座通帳の表紙等の写し（ただし、金融機関名、口座番号及び名義が入ったもの）

（口座名義が異なる場合は、記名してください。）

上記口座名義人にお支払ください。

氏 名